

日本の開国

- 1) 19世紀半ば、日本はまだ封建制下であり、鎖国政策をとっていた。
 1848年、【1: _____】を得て大陸国家となったアメリカ合衆国は、太平洋航路の確保のため、日本に補給基地を求めていた。当面、鯨を捕獲し油を採取する船の補給（石炭・水）と遭難時の救助を得ることが目的だった。鯨油は産業革命期のアメリカにとって機械の潤滑油の原料として不可欠だった。
 1853年、アメリカの【2: _____】が大西洋航路で喜望峰を回って、インド洋を経て来日。最初に到着した琉球では上陸した水兵が住民に乱暴狼藉をはたらき大ヒンシュクをかった後、江戸湾浦賀沖に出現、上陸して国書を示し開国を迫った。上陸地点には記念碑が建っている。このような海軍力を誇示した強引な外交を「砲艦外交」と言い、後に日本も行った。1853年の時は、「返事は来年」ということでお帰りの頂いた。この時の混乱と幕府の方針転換については日本史の課題である。この1回目の来航時に投錨した浦賀沖は観音崎より南で、江戸城まで直線距離で50kmもある。江戸幕府はこの事件をきっかけに江戸湾の品川沖に人工島を造成、砲台を建築した。今日の「お台場」の原型である。
 ペリー来航後ちょうど100年後に三浦半島に生まれた著者は小学校4年生の頃、「私は黒船を見に行った」と主張するかなりご高齢の老女から直接体験談を聞いたことがあるが年代的に無理があり、伝聞なのだろう。弁当を持ち母に連れられ花見でもするような風情で出かけたなら同じような人たちがたくさん海岸に群がって観ていたそうで、庶民の目からは国の安全が脅かされているという印象ではなかったようである。そのとき、私は歴史を語る仕事につく未来を予感した。
- 2) 1854年、11M ペリーは再度来航した。しかも今度は品川沖。砲艦外交の定石通りであるが、一部完成していた台場に気づき、射程に入るのを嫌い横浜沖まで戻った。日本はやむなく神奈川でアメリカと【3: _____】を結び、初めて朝貢関係ではない条約による外交関係を樹立した。【3】は「神奈川条約」とも言い、下田、箱館2港を開港した。この条約には後述の【4】とは異なり不平等さはないと説明されることが多いが、米にだけ最恵国待遇を認める点では不平等条約である。1858年、日本はアメリカと【4: _____】を締結した。これが問題の本格的な不平等条約である！これを是正させるため、明治の先人たちは大変な苦勞を強いられた。
 ①開港場追加（神奈川・兵庫・新潟・長崎）、②自由貿易の原則 はまだしも、③領事裁判権の承認（治外法権）、④関税自主権の放棄を認めた。そして、幕府は同様の不平等条約を、オランダ、ロシア、イギリス、フランスとも締結せざるをえなかった。これらを【5: _____】と言う。
- 3) 開国を契機に幕藩体制は急速に揺らいだ。外国との対応、日本の政体をめぐって国論は分かれ、攘夷じょういを実行する者もいた。列強にとって絶好のチャンスだったが、幸い列強からの武力干渉はなかった。「極東」に位置し、列強の拠点から遠かったことも幸いした。
 1868年、【6: _____】が行われ、天皇を中心とする中央集権体制が成立した。明治政府は、富国強兵・殖産興業の政策を強行した。専制政治に反対して憲法制定、国会開設を求める【7: _____】が起きたが1884年までに弾圧された。1889年には、【8: _____】を制定し、1890年には帝国議会を開設し、立憲君主制の体裁を整えたが、①外見的立憲主義のドイツ帝国憲法の影響が大きく、②【8】も国民には極秘のうちに起草され議会審議すら経ていない（議会はまだなかったが）。
- 4) 1871年、清と【9: _____】を締結。両国が制限的な領事裁判権を持つ変則的な対等条約である。
 1872年、琉球王国に清朝との冊封関係を断たせて琉球藩を設置。
 琉球は明と清に朝貢してきたが、1609年島津氏に征服されて以来、日本・中国の両方に帰属していた。
 1874年、【10: _____】を行った。……日清は早くも開戦の危機にあった。
 1871年、台湾に漂着した琉球八重山（やえやま）島民が殺害されたことを理由に台湾に出兵。駐清英公使の仲介で協定を結んで撤兵した。
 1879年、琉球国王の反対を無視して、琉球を【11: _____】として領土に編入した。（琉球処分）

日露国境画定

- 1) 1855年、幕末の【12: _____】による国境は図1のAライン。千島列島領有はクナシリ、エトロフ2島のみ。サハリンは「両国雑居」の地とされた。
 2) 1875年、【13: _____】による国境は図1のBライン。日本はサハリンの「雑居権」を放棄し、代わりにウルップ以北の千島列島を得た。この条約で全千島列島が日本の領土となった。北海道に付属する島嶼である歯舞諸島、色丹島はもともと日本領。
 上記1) 2) は両国ともに軍事力による威嚇や国力の誇示など、一切の強制力のない状態で締結された当時としては珍しい条約である。2)によって、全千島列島はわが国固有の領土である（学会多数説）。
 3) 1905年の【14: _____】による国境線は図1のCである。

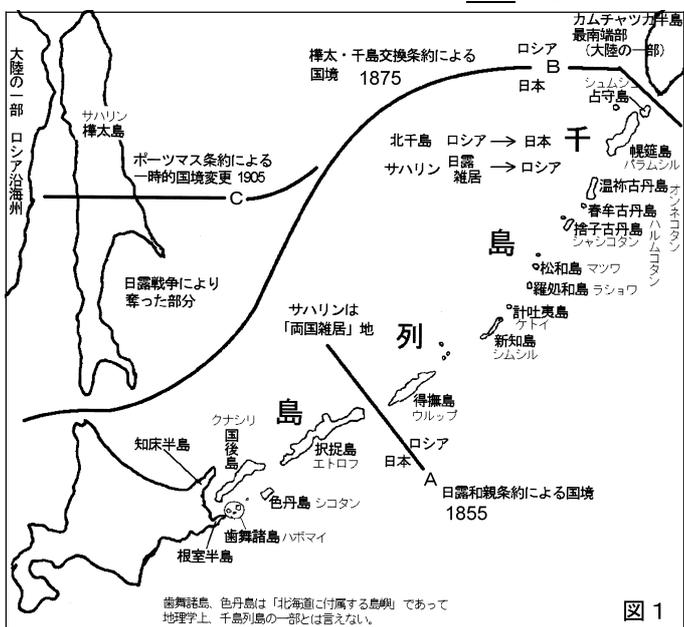


図1

4) 第二次世界大戦後の【15: 】の第2条c項で、わが国は「千島列島を連合国に対して放棄」した※。当時のわが国には、このような無法行為に抗議するすべもなかった。ロシアはこれを千島列島を占拠する国際法上の根拠としている。ロシアは明白に千島列島ですらないハボマイ、シコタンの不法占拠も続けている。なお、わが国政府が返還を要求しているのは、クナシリ、エトロフ、ハボマイ、シコタンのいわゆる「北方四島」であるが、これはいかなる歴史的根拠に基づくものであろうか。

※ 1945年2月のヤルタ協定中の秘密条項には、対日参戦と引き替えに「千島列島はソ連に引き渡される」とある。

朝鮮の開国

大院君=高宗の父

閔妃=高宗の妃

- 1) 朝鮮では19世紀に入ると、重税に反対する反乱が続発。例えば、【16: 】1811-12 は不平官僚と窮乏農民が挙兵。宮廷では保守・排外主義の勢力と近代化を目指す勢力が争っていた。民間では、慶尚道出身の【17: 】(チェジエウ 1824-64)は、民間信仰と儒・仏・道の3宗教を融合させ、「後天開闢」の時代が到来し「人すなわち天」となって皆神仙となれるという宗教を創始した。外国排斥の態度も特徴である。この新宗教を西学(=中国の翻訳書を通じて流入したカトリックを支柱とする西洋の学問)に対抗して【18: 】と称した。
- 2) 朝鮮王朝では1863年に哲宗位1849-63が世継ぎを残さず死去、まだ少年の【19: 】コジョン位1863-1907が即位したが、実質政権を掌握したのは、その父の【20: 】1820-98だった。大院君は朱子学擁護の「衛正斥邪」政策を推進、東学や天主教(カトリック)も弾圧した。1860年代には諸外国が開国を要求したが、強硬な攘夷政策をとり、外国軍隊を撃退した。もちろん、日本の開国要求にも応じなかった。1873年に高宗の妃である【21: 】(ミン妃、びんひ)を筆頭とする閔氏一族は大院君を引退させ、国王親政の名のもとに政権を掌握した。閔妃の政策は大院君と同様、排外主義的だった。複雑を極める日清戦争直前の朝鮮についてはNo.157で述べる。



- 3) 1875年9月、【22: 】が起きる。釜山方面から来航した日本の軍艦雲揚号が塩河の出口付近に達したところ、江華島草芝鎮砲台から砲撃された。雲揚号は応戦し、草芝鎮砲台に艦砲射撃を加え破壊した。塩河は漢江につながり、漢江を越れば首都漢城は射程距離に入る。草芝鎮砲台は首都の海上防衛上の最終防衛線である。雲揚号は南に回頭し永宗島と今日の仁川の間を通航中に永宗島の永宗鎮砲台から砲撃されたので、雲揚号は永宗鎮砲台に艦砲射撃を加え破壊し、陸上戦闘部隊を上陸させ破壊・略奪を行ったとされる事件である。《厳密に確認》「雲揚号」を砲撃をしたとされるのは、草芝鎮砲台(図2の砲撃戦1)と永宗鎮砲台(図2の砲撃戦2)。上陸・略奪したとされるのは永宗島であって江華島ではない。

《いわゆる歴史認識に関わって》

たとえば、前掲3)の江華島事件の前段に関して、①雲揚号は演習に名を借りて朝鮮を挑発したとするのが学会多数説であるが、②「雲揚号」は真水を入手すべくボートを下ろし岸に接近し、交渉を求めただけなのに砲撃され、やむなく応戦したとする説も存在する。このように、わが国と朝鮮・中国の現代史は、いわゆる歴史認識に関わって、単純な事件にも真っ向から相反し、容易には克服できない認識の差が厳に存在する特異な分野である。

- 4) 江華島事件を契機に日本政府は朝鮮政府に迫り、下記のように開国させた。
1876年、【23: 】締結 11M 朝鮮は閔妃政権 日本全権は黒田清隆

丙子修交条約ともいう。

江華島条約とも言う。この言い方の場合何故か日本史Bでは「島」は入れずに江華条約と言うのが普通。

- ①日本に【24: 】を認めた……多くの教科書はこれをもって不平等条約であるとする。
この条約の条文の上では領事裁判権は双務的であることから対等条約であるとする立場もある。これに対しては条約上は双務的であっても実際の運用がどうであったか検証する必要があるという意見もある。
- ②釜山など3港の開港。11M あと2港は後に元山・仁川に決定 10M
図3で確認せよ。仁川の当時の呼称は済物浦。
- ③公使館・領事館の設置
- ④無関税……【25: 】の放棄
- ⑤開港場での日本貨幣の使用

2008 防衛大学校 11/11 第1次試験(記述式) 人文・社会科学専攻 抜粋 改変

誤っている箇所(1箇所のみ)を探し、その下線部分の記号と正しい解答を記入

設問12 明治維新政府は、鎖国政策をとる朝鮮に開国を要求し、1875年軍艦「雲揚号」による「江華島事件」を誘発させ、翌年、閔氏政権との間に「日朝修好条規」を締結した。この条約は朝鮮の中国からの独立、「群山」など3港の開港、公使館・領事館の設置、在留日本人の治外法権などを含む不平等条約で、日本の朝鮮進出の足掛かりとなった。



正解 ホ、釜山 [元山、仁川]